

あなたに薦める『この一冊』9月

『あなたが母親の手料理を食べられる回数は、残り328回です。』上野そら【著】 一迅社

数学教諭 谷本 大知
高校 1年2組 副担任



普段、生きていくうえでいろいろな数字が見えるようになったら面白くないですか？
この本は短編小説なので、人によっていろいろな種類の数字が見える世界で生きていく人を描いた物語です。本の題名にもなっているように母の手料理を食べられる回数がカウントダウン形式で毎日数字として出てきたらあなたならどうしますか？ 今まで当たり前にあった日常が無くなっていく、、、しかも数字で宣告される。読むと様々な気持ちが入り混じるストーリーとなっています。涙するものから面白いものまで、考えさせられる作品ばかりです。
いろんな話を楽しめます。それぞれ良さがあります。最後の話では特に鳥肌が立ちました。
当たり前のことを当たり前と思わないこと。いつまであるか、続くかわからない。
もし自分の視界に残り〇回と数字が見えたなら、何を思い、どう行動するだろう？
今ある当たり前を幸せだとかみしめて生きていく覚悟ができた最高の1冊です。

上野そら(うわの・そら)豆知識

2016年にWeb上に掲載した「わたしのげぼく」で第9回アルファポリス絵本・児童書大賞に参加し、同作にて出版デビュー。
出典:「九つ憑き あやかし狐に憑かれているんですけど」 著者紹介

「それ」がわかったら、どうしますか？ 「わかってしまった」人々の物語

- 僕はまた、君にさよならの数を見る 霧友正規【著】

KADOKAWA



大学の医学部コースへ入学する僕は、桜の花が美しい春の日に、その女の子と出会った。一目惚れだったのだと思う。僕たちは恋人になり、なにげない温かな日々を送る。「亡くなった父親が患っていた、難病の治療法を見つけたい」そう彼女は明るく夢を語った。けれど彼女に触れたとき、300という数字が冷たく浮かんできた。それは、彼女とのさよならまでの日数。

君の人生の残り時間

- 沼に沈む骨は愛を語らない : 超能力者には向かない職業 斉木香津【著】 双葉社

刑事の麦子は、幼少期の「相手の気持ちになって考えなさい」という母の教え通りに人の意識に入り込む能力を身につけていた。その力が原因の一つとなり、田舎の村でしばらく休養することに。村では、行方不明だったある一家の長男の骨が沼で見つかり騒ぎになっていた。麦子は事件を調べるうちに複雑に絡み合う村の人々の思いに気づき――。



他人の意識の内側

- 嘘が見える僕は、素直な君に恋をした 桜井美奈【著】 双葉社



好きな人の嘘

不思議な力を持つ高校生、藤倉聖。幼い頃から、大切に想う人たちからの嘘に苦しめられてきた聖は、もう誰も好きにならないよう、心を閉ざし生きてきた。だがそんなある日、聖は嘘とは無縁の明るく素直な転校生、二葉晴夏と出会ってしまい――。

★谷本 大知(タニモト ダイチ)先生の紹介★

*担当科目・クラス

数学Ⅰ(高1年1組、2組)

数学A(高1年3組)

数学Ⅱ(高2年5組)

*星座→やぎ座

*趣味→ドラマ鑑賞・映画鑑賞

*自分の中学・高校生活

この学校で生徒として学び、外部で空手をやっていました！

*本校生の印象

先生方がみなさん優しくて面白くて個性的！

*感動した本

『永遠の0』百田尚樹【著】 講談社

*読むことが望ましい本

『高校入試』湊かなえ【著】 角川書店(現:KADOKAWA)

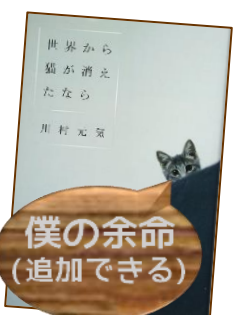
- 空の境界 奈須きのこ【著】 講談社



浮遊する幽霊の群れ。人の死を蒐集する螺旋建築……。この世の存在のすべてを“殺す”、式のナイフに映る数々の怪異。非日常の世界は、日常の世界と溶け合って存在している――。“新伝綺”ムーブメントの到来を告げる傑作中の傑作が新生する！

- 世界から猫が消えたなら 川村元気【著】 マガジンハウス

僕の葬式。僕の枕元に集まる人はどんな人たちだろうか。かつての友達、かつての恋人、親戚、教師、同僚たち。そのなかで僕の死を心から悲しんでくれる人は、何人いるのだろうか。僕と猫と陽気な悪魔の7日間の物語。



僕の余命(追加できる)

編集後記:「ふつう見えないもの」が見えるといいな、と思ったことはありませんか？(未来、相手の気持ち、他にもいろいろ……) これらの小説たちが、ちょっとだけ、あなたの願いを叶えてくれるかも。